

記載例

様式第7号

農地法第3条の3第1項の規定による届出書

下記農地（採草放牧地）について、**相続**により**所有権**を取得したので、農地法第3条の3第1項の規定により届け出します。

〇〇年〇月〇〇日
(あて先) 白井市農業委員会会長

住所 白井市復1234-〇
氏名 白井 梨子
電話連絡先 090-1234-111〇

白井

記

1 権利を取得した者の氏名等

氏名	住所
白井 梨子	白井市復1234-〇

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m ²)	備考
	登記簿	現況		
白井市〇〇字〇 〇〇111〇番	山林	畑	2200	

相続者が2名以上、相続した土地が書ききれない場合など、(別紙)用紙を必要に応じてお使いください。
※添付資料：登記完了後の土地の登記事項証明書(土地登記簿謄本)

3 権利を取得した日

〇〇年〇月〇日

相続であれば、相続が発生した日を書いてください。

4 権利を取得した事由

相続により取得

相続以外の場合
例)法人の合併・分割等

5 取得した権利の種類及び内容

権利の種類：所有権

内容：耕作していない

権利の種類：所有権などを書いてください。
内容：耕作している、貸している、耕作していない。など耕作状況を書いてください。※耕作をしていない場合も、草刈等の保全管理は必ず行ってください。

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

有

無

裏面を参照ください。

(記載要領)

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載する。
- 2 届出者の氏名（法人の場合にあってはその代表者の氏名）の記載を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 3 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載する。
- 4 2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載する。
- 5 4の「権利を取得した事由」には、相続(遺産分割及び包括遺贈を含む)、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載する。
- 6 5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載する。
- 7 6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載する。